



基本設計による完成イメージ

小野中学校建設だより

# 小野中学校改築基本設計がまとまりました!!

教育環境向上のため改築整備を行う小野中学校の基本設計がこのほどまとまりました。

「小野中学校整備基本構想」をもとに小野中学校施設整備検討委員会などによる検討を重ねながら、設計を進めてきました。

基本設計は、中学校改築の基本的な配置や規模などをとりまとめたものです。今後、更に基本設計に対するご意見やご要望を踏まえながら検討を続け、実施設計を作成します。

## 基本的な考え方

小野中学校改築にあたり、建物の外観や豪華さよりも学校生活で求められる機能性を重視した施設づくりを念頭に、バリアフリー化や機能的で人に優しい施設の整備を図ることにしました。また、建設期間中における生徒の安全確保や学校生活への影響の軽減に最大限配慮した設計画にしています。

## 【設計の基本方針】

- 生徒たちが楽しく学べ、夢や希望が育つ学校
- 生徒たちと教師のふれあいが深め

られ、教育活動が効果的に行うことができる学校  
地域のシンボル・心の拠り所としての学校

## 【配置計画について】

- ▼コンパクトかつ機能的な配置計画  
普通教室、図書・パソコン等のメディア機能、職員室など管理機能をコンパクトかつ機能的に配置します。
- ▼学年ホールや空き教室対策を考慮した普通教室ユニット  
普通教室は4室ごとに3ユニットの構成とし、それぞれが明るく開放的な学習環境を確保します。また、多様な授業展開に対応でき、教師と生徒、また生徒同士のコミュニケーションが図れる「学年ホール」を配置します。
- ▼管理機能、交流の各スペースを校舎中央に配置  
広大な校地と校舎内の安全管理を図る職員室と、生徒の交流の場となる多目的ホールを校舎中心部に配置します。

## 【給食施設について】

校舎改築に併せて行う給食施設の

整備については、町内の各共同調理場の施設状況、将来の運営コストなども総合的に勘案し、町内小中学校への配食も見据えたセンター機能を持たせる規模とします。



新校舎の模型